

## 共同声明

# 就学前教育を すべての人々へ

今こそ、すべての子どもたちが質の高い就学前教育を受け、必要なスキルを身につけて小学校へ進学し、個人として成功するとともに、それらを通じて世界全体が真の豊かさを享受する時です。

現在、世界が直面している「学習の危機」の問題は、子どもたちが幼少期の頃に端を発しています。質の高い就学前教育に十分な投資を行わないことによって、子どもたちは学習の準備が整わないまま、学校生活を始めることになります。非常に多くの子どもたちが、有意義な小学校生活を送る上で必要な最低限のスキルも持たずに、入学することになるのです。

あらゆる学習の基盤、すなわち質の高い就学前教育をすべての人々に届けることで、学習格差の是正、教育システムの強化、人的資本開発の基盤構築、そして国全体の経済成長・発展に結びつきます。こうした広範な成果が期待されるにもかかわらず、世界中で1億7500万人以上の子どもたち（就学前教育の対象年齢にあたる子どもの約半数）が就学前教育を受けられていません。<sup>1</sup>とりわけ低所得国においては、就学前教育を受けている子どもは、わずか5人に1人です。<sup>2</sup>アフリカでは、就学前教育の総就学率は大陸全体で平均33%にとどまっており、対象年齢にあたる子どものうち5700万人以上が早期学習の機会を逸しています。

以上を鑑み、2030年までに質の高い就学前教育の完全普及を目指す国連持続可能な開発目標（ターゲット4.2）を達成すべく、私たちは共に声を上げ、行動を起こしていくことが喫緊の課題であると考えます。この観点から、過去10年間で就学前教育を取り巻く環境が大幅に改善したことは、望ましい変化といえます。また、いくつかの先進的な政府が就学前教育を重視する政治的な意思を鮮明にし、効果的な政策・投資を展開することによって、子どもたちがどのような恩恵を享受できるか明らかにしたことは賞賛に値します。

就学前教育を巡る機運は今、世界中で高まっています。2018年、アフリカ連合はモーリシャス政府と「幼少期の発達と教育のためのクラスター」を立ち上げ、「アジェンダ2063」及び「アフリカ教育戦略（CESA）2016-2025」が目指す早期学習の普及を後押ししています。さらに2019年、就学前教育に焦点を当てたUNICEFのグローバルレポート「学びへの準備」は、就学前教育の完全普及へ向けたロードマップを示しました。こうした中、各国からの要請を受け、様々なパートナーが就学前教育の普及を加速させるため、投資を拡大し、関連する知見やイノベーションの共有を進めています。例えば世界銀行は、就学前教育に関する50ものプロジェクトに計10億米ドル以上の資金を投入しています。また2019年のG20開発作業部会では、就学前教育が人的資本投資の重要な要素として強調されました。

こうした取り組みは非常に重要ですが、それだけでは十分ではありません。とりわけ、就学前教育に対する国内予算及び国際援助の支出状況を見てみると、早期学習への投資に対して得られる利益を反映しているとはいえません。具体的には、教育分野における国際援助のうち、わずか0.7%しか就学前教育に充てられていません。またアフリカ諸国では、教育予算のうち就学前教育セクターが占める割合は最も小さく平均3.3%、低所得国にいたっては2%に過ぎません。このような過少投資の結果、就学前教育の完全普及あるいはそれに近い状態を達成している国は、世界全体で4分の1を下回っています。<sup>3</sup>

**私たちは、子どもたち及び各国のために抜本的で費用対効果の高い変化を引き起こすことを目指して、以下に掲げる5つの相互補完的な柱について、世界中の関係者・関係機関が共に力を合わせて行動するよう要請します。**

- 1 就学前教育に対する政治的意思を:** グローバル、大陸、地域、各国で開かれるハイレベル会合・イベントにおいて就学前教育を積極的に取り上げ、当該セクターに焦点を当てた政策対話を推進・支援します。
- 2 教育セクター計画において就学前教育を優先課題に:** 各国における教育セクタープランの策定、予算措置、実行段階において、最低1年間の質の高い就学前教育を最優先課題に据えるよう、教育大臣によるリーダーシップを求めるとともに支援します。
- 3 より多くの質の高い国内外資金を就学前教育に:** 就学前教育に充てる国内資金と国際援助のシェアを大幅に増加します。
- 4 就学前教育システムの強化と質向上に向けたコミットメントを:** 質の高い就学前教育に資する強固で持続可能なシステムを構築するため、資金投入を促進します。とりわけ、質の保証・向上に重きを置き、有能な教員を大幅に増加させるため、様々なリソースを動員します。
- 5 的を絞った一貫した投資を:** 就学前教育の重要性を明確にしたSDG4.2及びCESAを実現するため、政治・政策的なサポート及びリソースを増大させるとともに、関係者が持てる力を結集します。

私たちは、すべての子どもたちが必要なスキルを身につけて小学校へ進学し、個人として成功するとともに、社会全体が豊かさを享受できるような世界を構築すべく、協働していきます。このビジョンを実現するためには、各国政府及びパートナーが就学前教育を重要課題として位置づけることが不可欠です。そして、アジェンダ2063で掲げられた「我々が望むアフリカ」の実現に向けて、CESA2016-2025及びSDG4で謳われている質の高い教育をすべての人々に届ける上でも、就学前教育の普及が必須であることを、関係者が十分に認識することが肝要です。

1 UNICEF、「学びへの準備：質の高い早期幼児教育を優先する」、UNICEF、ニューヨーク、2019年4月、p.26 (<https://data.unicef.org/resources/a-world-ready-to-learn-report>)

2 UNCESCO統計研究所 (UIS)、グローバルデータベース、2018年

3 UNICEF、「学びへの準備：質の高い早期幼児教育を優先する」、UNICEF、ニューヨーク、2019年4月